

第14回 羽曳野市 図書館を使った調べる学習コンクール 審査結果について

令和6年11月
羽曳野市教育委員会

◆募集期間 令和6年9月1日(月)～9月30日(月)

◆応募者総数 1310人

◆応募作品数 506人

(小学生の部 低学年:190人・21点 中学年:426人・132点 高学年626人・338点)

(中学生の部 中1～3年:68人・15点)

◆受賞者氏名等(敬称略)

大賞(教育長賞) 高 鷲 小 学 校 5年 吉田 絢音
なぜ小学生から外国語の授業をするの？
AI時代に英語を勉強する必要はあるの？

優秀賞 古 市 小 学 校 5年 寺田 瑠莉
おしえてあげよう バナナの秘密！！

優秀賞 羽曳が丘小学校 6年 亀井 春翔
ーゼロ・ウェイストとはー

優秀賞 高 鷲 小 学 校 6年 宮 碧泉
本当の気持ち

優秀賞 埴 生 南 小 学 校 2年 三宅 唯月
地しんにそなえて

優秀賞 古 市 南 小 学 校 4年 西川 楓馬
日本人なら知っておきたい和食の魅力！！

学校賞 羽曳が丘小学校

※ 上記のほか、佳作として20点が選出されました。

※ 大賞を含む優秀賞作品(6作品)は、全国コンクールへ出品します。

◆総 評

第14回は参加者1310人、506点の作品応募がありました。

応募して下さったすべてのみなさまをはじめ、取り組んでいただいた先生方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

本コンクールのねらいの一つは、調べて考える楽しさを知っていただくことです。

今年も「なぜだろう」「～について調べたいな」という気持ちを大切にしたい意欲的な作品がたくさんありました。関連する本を何冊か選び参考としながら、自ら調べ、確かめ、自分の言葉でまとめている作品や気づきがあるものが高い評価を得ました。

家庭や先生、学校図書館司書の方や公共図書館も関わって、家庭や学校・地域の方も一緒に取り組んでいることを感じました。

世の中には、たくさんの資料や情報があふれています。しかし、すべてが必要な情報とは限りません。大切なのは、情報を収集し、その情報を取捨選択して必要なものを選び、常に考えながら調べ続けることです。図書館資料を活用し、自ら見学・実験・観察等を通して得た新しい発見を、喜びや驚きなどの感情とともに自分の言葉で表現してください。これからも進んで「なぜだろう」「ふしぎだな」「知りたいな」と思ったことをもとに、調べる学習を進めていきましょう。

学校におかれましては、コンクールに多くの児童・生徒を参加させていただきありがとうございます。今回学校賞を受賞された羽曳が丘小学校においては、1次審査を通過した作品がいずれも優れた作品となっていました。

図書館を活用して調べ学習に取り組んだ経験が、『主体的・対話的で深い学び』に繋がっています。『学び方』が重要視されているこの時代に、図書館の「読書センター、学習・情報センター」としての機能を一層活用し、読書活動、調べる体験を取り入れた学習を各学校園でも進めていただくことを期待しております。

【表彰式の様子】

